

体に汗かかない犬猫、なぜ肉球に汗？

ストレスや緊張で汗腺刺激

問 動物は汗をかかないといいますが、犬や猫の肉球が汗でぬれているのを見たことがあります。なぜでしょうか？

答 汗を作り出す汗腺には大きく分けて2種類あります。一つはエクリン腺といって体温調節のために水分を排出するもの、もう一つはアポクリン腺という脂質やタンパク質を多く含んだものでフェロモンのような役割をしているともいわれます。

人間はエクリン腺が全身に分布していて体が熱くなると水分を排出して体温を下げますが、アポクリン腺は脇や耳などの一部の皮膚にしか存在しません。一方、犬や猫ではアポクリン腺が全身に分布していますが、エクリン腺は足の肉球と鼻にのみ存在します。つまり、2種類の汗腺の割合が人間と逆で、水分を多く含む汗をたくさんかいて体温を下げるできません。

犬や猫を病院に連れて行って診察台に

乗せると汗で足跡がつくのをよく見かけます。あれは緊張でエクリン腺が刺激されて出てきた汗であり、この汗自体には体温調節の働きはありません。なぜ足にだけ汗をかくのかというと、ストレスや緊張の強い状況で走ったり登ったりするときに、摩擦を増やし滑るのを防ぐためではないかといわれています。

人間のように皮膚から汗をかかない

上、体毛に覆われている犬や猫は、今の夏の暑さは人間以上にこたえると思います。ペットにとっても、水分を十分摂取してエアコンの効いた部屋（25～26度設定推奨）に一日とどまるのが、理想の夏の過ごし方になりそうですね。

（山田 輝貴・県獣医師会員）

<月1回掲載します>

ペットに関する素朴な疑問や健康、飼い方についての質問をお寄せください。〒422-8670 静岡新聞社編集局「ペット質問箱」係へ。Eメール<seikatsuhoudou@shizuokaonline.com>や、右のQRコードで投稿フォームからも送信できます。全てにはお答えできず、直接回答もしかねますがご了承ください。

